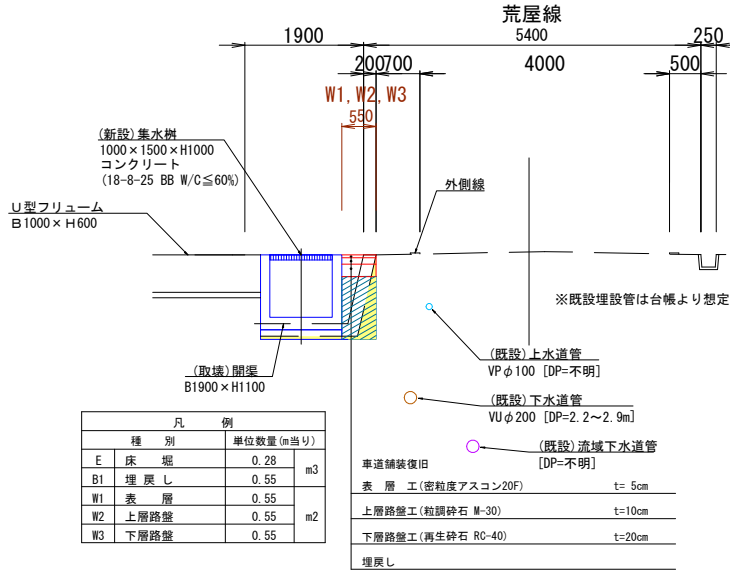


平面図・断面図

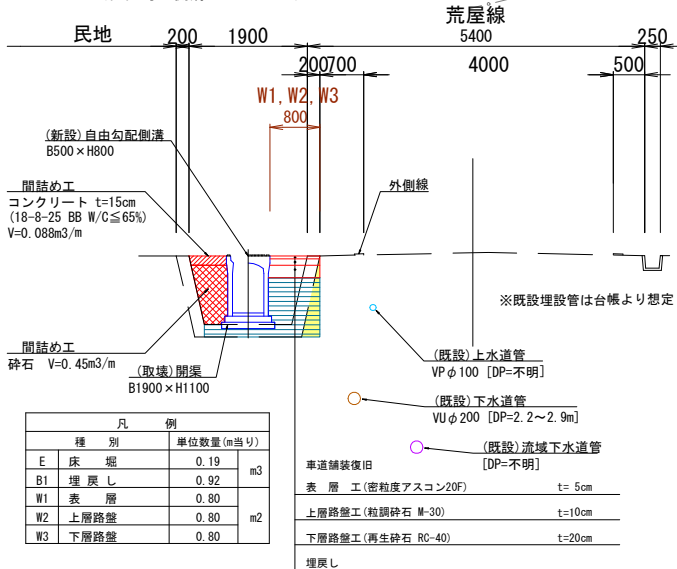
集水樹部断面図

(集水樹 1000×1500×H1000)



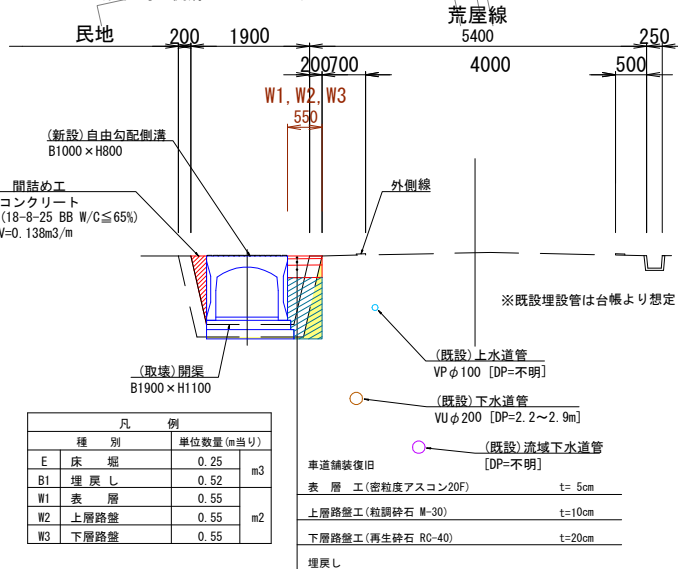
A-A 断面図

(自由勾配側溝 B500×H800)



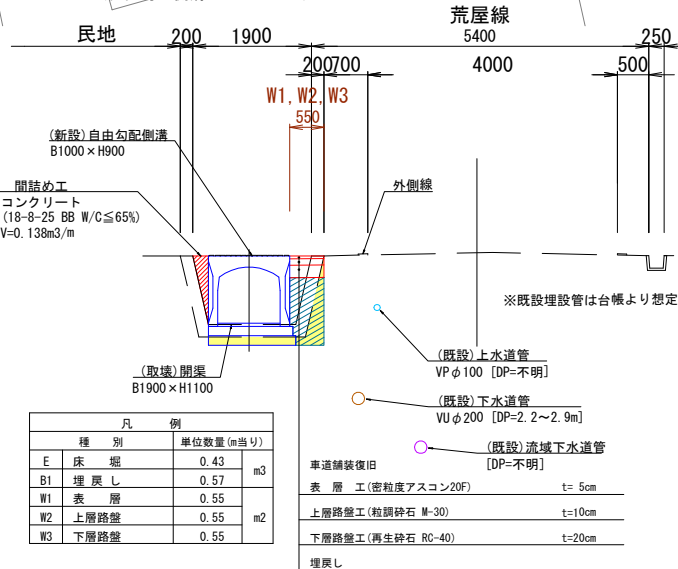
B-B 断面図

(自由勾配側溝 B1000×H800)



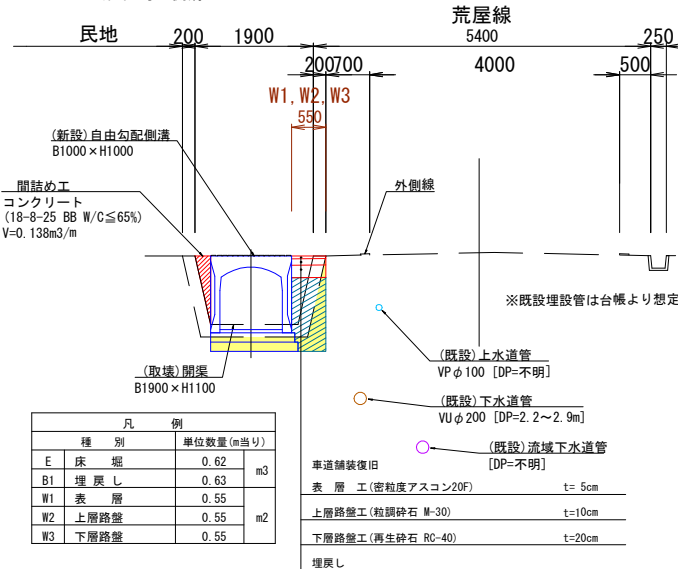
C-C 断面図

(自由勾配側溝 B1000×H900)



D-D 断面図

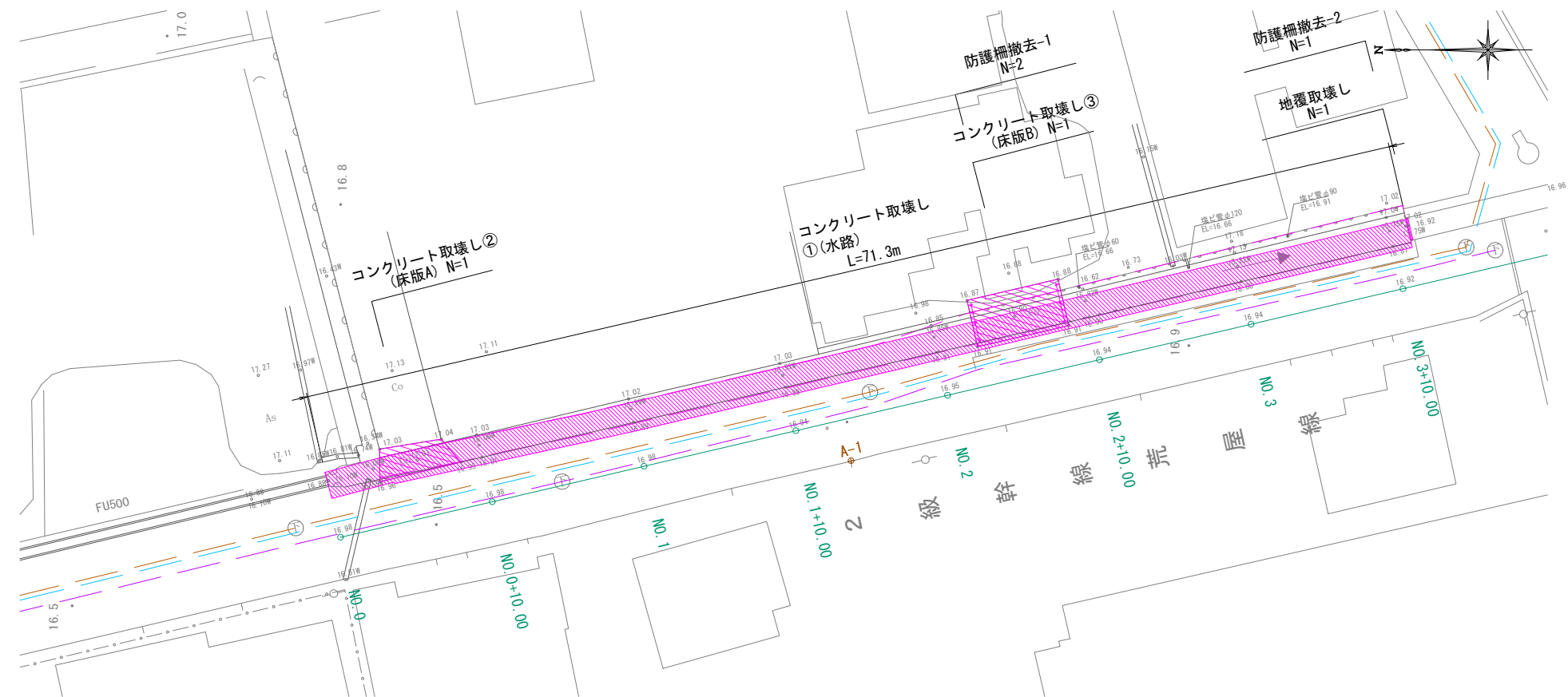
(自由勾配側溝 B1000×H1000)



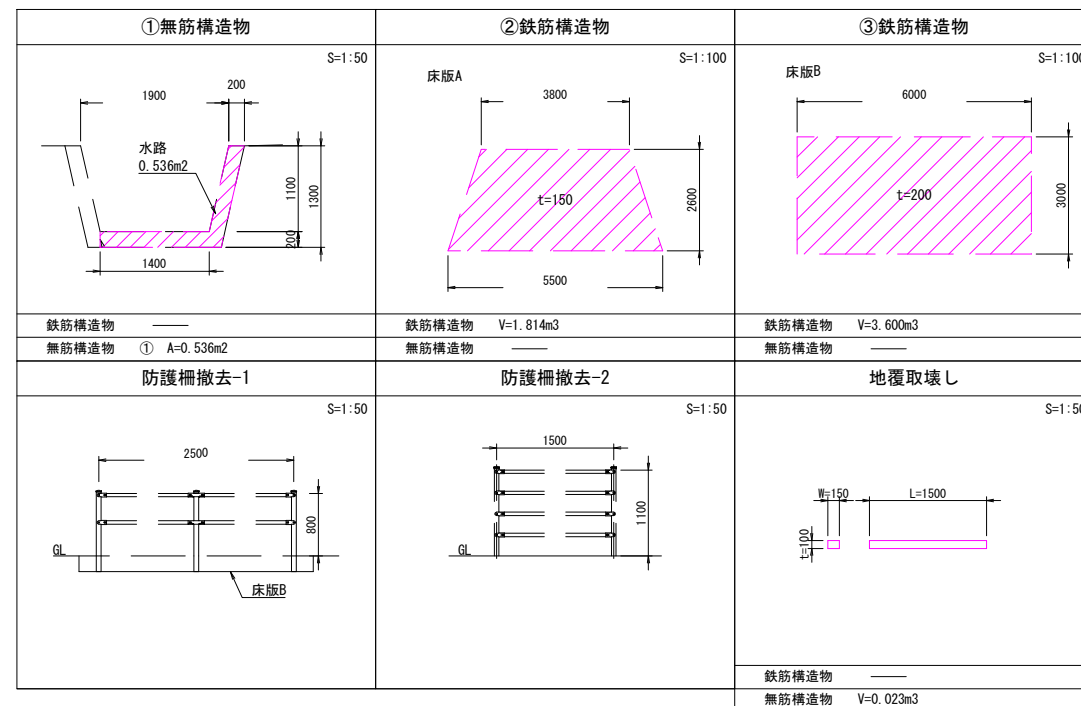
- 注記
- ・施工に際しては現地にて用地境界を確認すること。
 - ・側溝等の小構造物は、現地状況（道路沿道宅地、整備済水路・側溝等）に合わせて施工すること。
 - ・道路には水道、下水道、流域下水道が埋設されているため、施工に際しては埋設状況を確認すること。
 - ・なお、本図記載の各埋設物の位置については、管理台帳をもとに想定したものであるため、施工前に必ず確認すること。
 - ・沿道宅地からの既設排水管は自由勾配側溝に接続させること。
 - ・なお、接続に際して自由勾配側溝に開口を設ける場合は、ハンチより下側に設けること。
 - ・起点部のベンチフリーウムの接続・処理方法について、発注者及び地元町会と調整すること。
 - ・集水樹の位置、高さ及び開口位置については現地状況に合わせて調整すること。
 - ・宅地乗入部の既設床版取壊しについては、発注者及び所有者と協議の上、工事を行うこと。
 - ・開渠の取壊しに際しては、沿道宅地への工事影響に十分注意すること。

令和 8 年度	
工 事 名	市道荒屋線側溝改良工事
路 線 名	市道荒屋線
箇 所	能美市 荒屋町 地内
図 名	平面図・断面図
縮 尺	
図面番号	1 / 4 枚の内
能 美 市	

取壞平面図



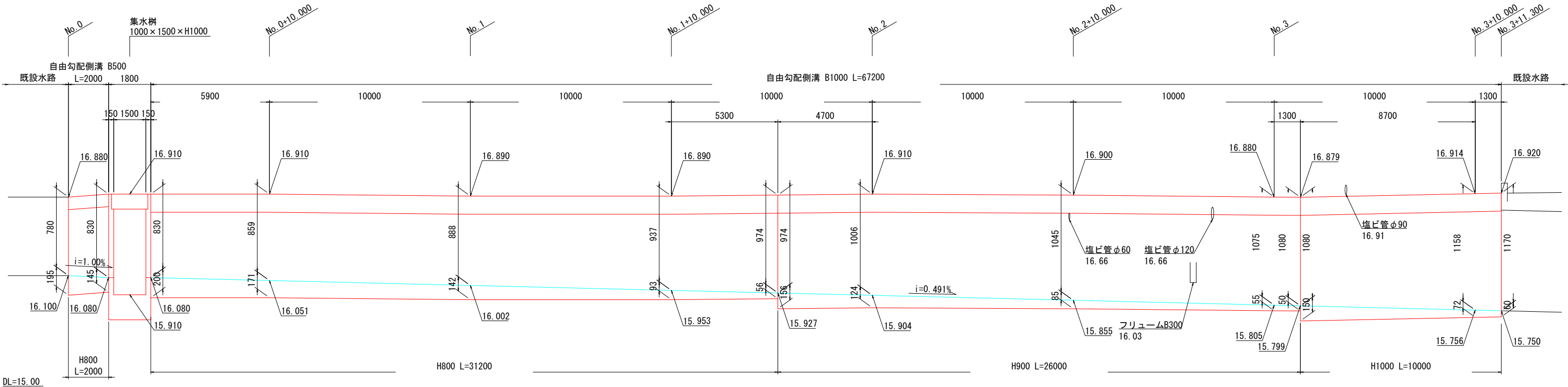
コンクリート取壊し断面図



令和 8 年度	
工 事 名	市道荒屋線側溝改良工事
路 線 名	市道荒屋線
箇 所	能美市 荒屋町 地内
図 名	取壊平面図
縮 尺	
図面番号	2 / 4 枚の内
能 美 市	

自由勾配側溝展開図

H=1:100
V=1:20



注記

- ・ 施工に際しては現地にて用地境界を確認すること。
- ・ 側溝等の小構造物は、現地状況（道路沿道宅地、整備済水路・側溝等）に合わせて施工すること。
- ・ 道路には水道、下水道、流域下水道が埋設されているため、施工に際しては埋設状況を確認すること。
- ・ なお、本図記載の各埋設物の位置については、管理台帳をもとに想定したものであるため、施工前に必ず確認すること。
- ・ 沿道宅地からの既設排水管は自由勾配側溝に接続させること。
- ・ なお、接続に際して自由勾配側溝に開口を設ける場合は、ハンチより下側に設けること。
- ・ 起点部のベンチフリュームの接続・処理方法について、発注者及び地元町会と調整すること。
- ・ 集水樹の位置、高さ及び開口位置については現地状況に合わせて調整すること。

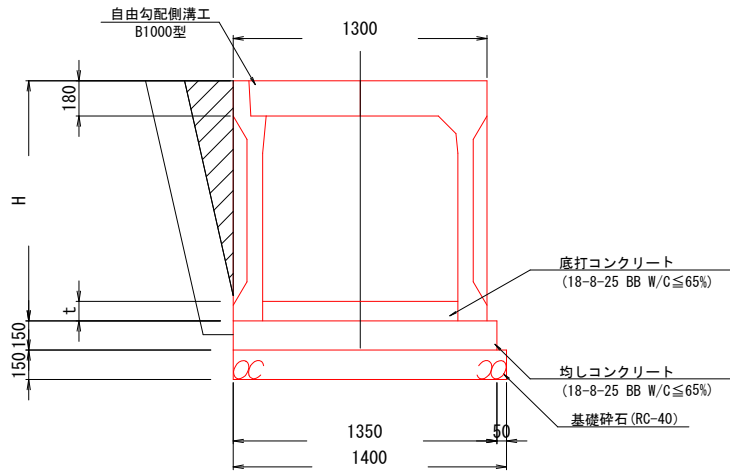
令和 8 年度	
工 事 名	市道荒屋線側溝改良工事
路 線 名	市道荒屋線
箇 所	能美市 荒屋町 地内
図 名	自由勾配側溝展開図
縮 尺	H=1:100, V=1:20 (A1)
図面番号	3 / 4 枚の内
能 美 市	

小 構 造 物 構 造 図
(参考図)

S=1:20

自由勾配側溝工

縦断型



自由勾配側溝工 B1000型（縦断型）

（10m当り）

種 別	単 位	算 式	数 量	摘 要
自由勾配側溝	個	10.0/2.0	5.0	1000×800~1000 (縦断型)
基礎砕石	m ²	1.40×10.0	14.0	RC-40 t=150
均しコンクリート	m ³	1.35×0.15×10.0	2.03	18-8-25 BB W/C ≤ 65%
型枠	m ²	0.15×2×10.0	3.0	
底打コンクリート	m ³	1.00×t×10.0	別途計上	18-8-25 BB W/C ≤ 65%
コンクリート蓋版	枚	10.0-2.0	8.0	1130×500×180 W=232kg/枚
グレーチング蓋版	枚	10.0/5.0	2.0	1120×495×176 (130) W=68kg/枚

※ 底打コンクリート厚（t）の最小値は、50mmとする。
※ 蓋版については、5mに1ヶ所グレーチング（車道用）を設置する。

寸法表

呼び名	H	参考重量 (kg)
B1000×H800	1030	1720
B1000×H900	1130	1810
B1000×H1000	1230	1910

自由勾配側溝工 B500型（縦断型）

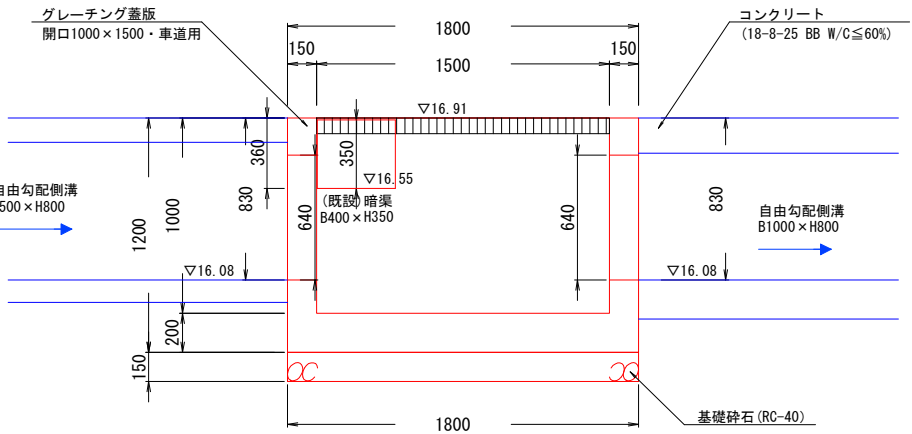
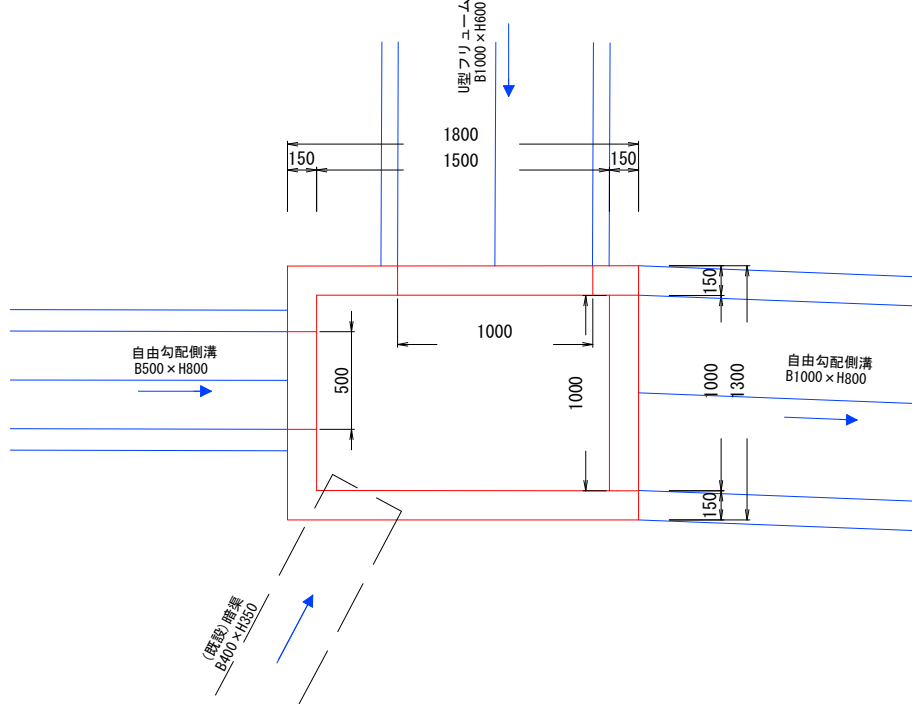
（10m当り）

種 別	単 位	算 式	数 量	摘 要
自由勾配側溝	個	10.0/2.0	5.0	500×800 (縦断型) W=845kg/個
基礎砕石	m ²	0.84×10.0	8.4	RC-40 t=100
均しコンクリート	m ³	0.74×0.10×10.0	0.74	18-8-25 BB W/C ≤ 65%
型枠	m ²	0.10×2×10.0	2.0	
底打コンクリート	m ³	0.50×t×10.0	別途計上	18-8-25 BB W/C ≤ 65%
コンクリート蓋版	枚	10.0-2.0	8.0	600×500×125 W=84kg/枚
グレーチング蓋版	枚	10.0/5.0	2.0	600×495×125 (65) W=31kg/枚

※ 底打コンクリート厚（t）の最小値は、50mmとする。
※ 蓋版については、5mに1ヶ所グレーチング（車道用）を設置する。

集水樹構造図

1000×1500×H1000



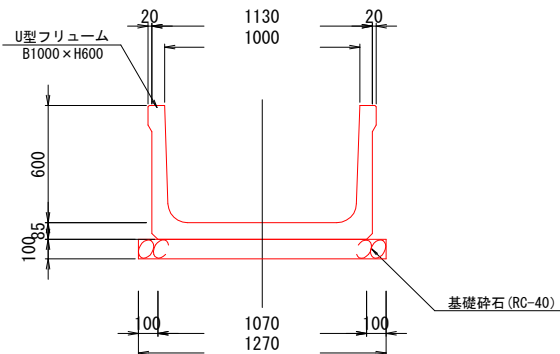
集水樹 1000×1500×H1000

（1箇所当り）

種 別	単 位	算 式	数 量	摘 要
コンクリート	m ³	1.30×1.80×1.20-1.00×1.50×1.00	1.31	18-8-25 BB W/C ≤ 60%
型枠	m ²	(1.30+1.80+1.00+1.50)×1.20×2	13.44	小構造物
基礎砕石	m ²	1.30×1.80	2.34	RC-40 t=150
グレーチング蓋版	組	開口1000×1500用 2枚割	1.0	車道用 普通目

U型フリューム工

B1000×H600



U型フリューム工 B1000×H600

（10m当り）

種 別	単 位	算 式	数 量	摘 要
U型フリューム	個	10.0/2.0	5.0	B1000×H600 W=910kg/個
基礎砕石	m ²	1.27×10.0	12.7	RC-40 t=100

注記

- ・ 施工に際しては現地に於て用地境界を確認すること。
- ・ 側溝等の小構造物は、現地状況（道路沿宅地、整備済水路・側溝等）に合わせて施工すること。
- ・ 道路には水道、下水道、流域下水道が埋設されているため、施工に際しては埋設状況を確認すること。
なお、本図記載の各埋設物の位置については、管理台帳をもとに想定したものであるため、
施工前に必ず確認すること。
- ・ 沿宅地からの既設排水管は自由勾配側溝に接続させること。
- ・ なお、接続に際して自由勾配側溝に開口を設ける場合は、ハンチより下側に設けること。
- ・ 起点部のベンチフリュームの接続・処理方法について、発注者及び地元町会と調整すること。
- ・ 集水樹の位置、高さ及び開口位置については現地状況に合わせて調整すること。
- ・ 間詰工は現場状況に応じて使用する材料を変更すること。ただし、透水性が高い材料を使用すること。
なお、施工時に既存水路壁の水抜孔より水の滲出が確認される場合には自由勾配側溝に削孔を設ける
等の対策を行うこと。

令和 8 年度	
工 事 名	市道荒屋線側溝改良工事
路 線 名	市道荒屋線
箇 所	能美市 荒屋町 地内
図 名	小構造物構造図（参考図）
縮 尺	S=図 示 (A1)
図面番号	4 / 4 枚の内
能 美 市	